

地域科学部・教育学部・男女共同参画推進室共催FDを開催

平成25年3月6日（水）、地域科学部・教育学部・男女共同参画推進室共催のFDを開催し、教職員や学生計83名が参加しました。

FDでは、お茶の水女子大学副学長の鷹野景子氏をお招きし、お茶の水女子大学の取り組みについてご講演いただきました。講演では、学長のリーダーシップのもと「9時-5時体制」の徹底化に取り組み、最初はあまり積極的ではなかった構成員の意識も徐々に変わり、現在では定時には心おきなく帰宅できる職場環境になってきていることが紹介されました。また、女性研究者に適合した雇用環境を構築するために必要な取り組みを整理し、女性研究者支援を行う際の指標をまとめた「お茶大インデックス」、女性研究者を支援する体制を整備するための手引き書「COSMOS Work Book」を作成・公表し、他機関へ広く発信していることが紹介されました。この他、優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供するための「みがかずば研究員」制度など、多様な取り組みについてお話しいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲講演する鷹野氏

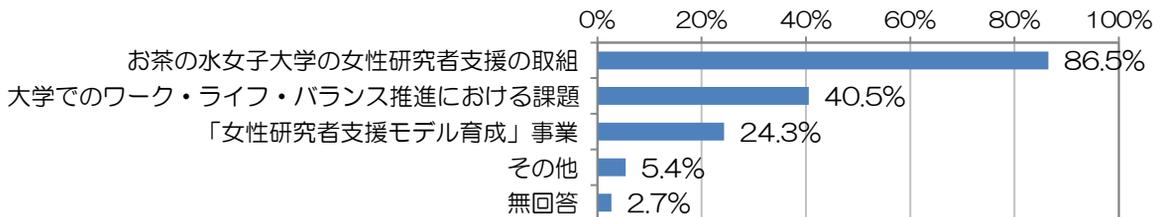


▲会場の様子

アンケート結果

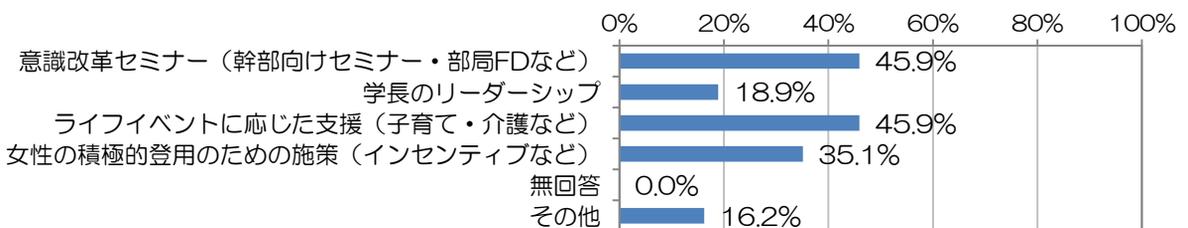
(アンケート回答数：37票)

このFDにより理解が深まった項目



(その他) 日本における女性活用度の低さ、みがかずば研究員

岐阜大学において男女共同参画の推進に必要と思う項目



(その他) 全教職員向けの意識改革セミナー、任期付教員など教員間差別の撤廃、職員の意識改革、学長のリーダーシップは、トップダウンでないリーダーシップ、全構成員の共通認識・理解の形成、実施、運用機関のより一層の整備